

＝ 年長交流をしました ＝

今年度の交流リズムは感染症の流行や大雪のために4園が揃って交流できたのは1回だけになってしまい残念でした。

1月の交流予定も前日からの大雪で中止となってしまうために、3月は会場を予定していた園に感染症が出てしまったのですが、今年度最後の交流は是非行いたいということで、急遽会場園を変更して3月1日に行うことができました。

仲良くなった他園の友だちと再会を喜び合う子どもたちの姿もあり、久しぶりに会った子どもたちは一回り遅しくなったと感じました。



生まれ月に別れてリズムを行いました。午前中は基本のリズムを中心に行いました。

はじめは緊張していた子もいましたが徐々に心身がほぐれてくると、同じ園の仲間や仲良くなった子を応援する子どもたちでした。運動会の前の交流で初めて生まれ月に別れてリズムを行ったときには不安から泣けてしまってリズムに参加できなかった子も、前を向いて参加していく姿もありうれしく思いました。

午後は年長のリズムを中心に行いました。側転で足が伸びている、蝶の美しい姿等々に

たくさんの刺激をもらった子どもたちでした。竹踊りは初めての園もあり、経験している園の子どもたちにお手本を見せてもらい挑戦しました。緊張感もあったけれど1回やってみると意欲的に何回も挑戦していました。休憩時には天気が悪くて外に出かけられなかったのが、会場園の子たちが作っていた折り紙と一緒に作りました。お互いに教えあったりしながらたくさんの作品ができ上がりました。一日の交流もあっという間で、別れを惜しみながらそれぞれの帰途につきました。急遽の変更でしたが、交流保育を行うことができ改めてたくさんのエネルギーをもらったと感ずることができました。



* 山の子保育園 ＝高遠へのお泊り会＝

今年度は『森はいきている』の観劇を見に行けたこともあり、その後人形劇を作って楽しむ姿がありました。

また、劇を見た事で今まで以上に森シリーズのうたを楽しめる様になっていった子どもたちです。

そんな中、3月に伊那市にある国立信州高遠青少年自然の家にて2泊3日でお泊まりに行ってきました。

高遠では物語の世界と繋がるところがいっぱい！ちょうど前日に雪が降って、辺りの森は真っ白！そんな雪景色は



もちろん、「高遠の池が凍ってる！指輪が投げられた池みたい！」「あそこにあるもみの木、女王様が気に入るかも！」と子どもたち。やっぱり高遠は『森は生きている』の世界みたいだね！！とみんなで盛り上がったのでした。

また、乗馬に向かうバスの中で、森シリーズのうたを歌っていったのですが、“馬にまたがる人々よ～♪”という歌詞までも「今日、自分たちも馬にまたがる人々になれるね！！」と繋げていた子どもたちでした。そんな子どもたちの姿から、卒園式でのうたや、壁面も森は生きているに決めました。

ここからまたさらに、子どもたちの中に物語の世界が深まっていくといいなと思っています。



***山形やまのこ保育園 =引継ぎお泊り会がありました=**

年長から年中へ「これからはみんながやまのこを守って行ってね」という思いを込めて引継ぎお泊り会をしました。

事前に決めておいた年長と年中のペアになり、1日目は姉妹園でのリズム交流、いちご狩り、入浴施設でのお風呂を一緒に楽しみました。お風呂では年長が一年の間に覚えてきたお風呂でのマナーや着替えの仕方を教えてあげていました。



翌日は引き継ぎ会です。今まで年長がやってきた雑巾がけや庭の片付け等の話しをし、手縫いの雑巾をプレゼントしました。年中からは「卒園証書を入れてね」と手作りの証書入れのプレゼントがありました。それぞれ気付かれないように準備していた物で、お互いに受け取ると「ありがとう!」と、とても嬉しそうでした。

その後はペアの年中に年長が雑巾がけの仕方をおしえてあげました。バケツの準備の仕方、雑巾の絞り方を等先にやって見せ、その後年中さんと一緒にやってみました。そして並んで雑巾がけをし、「部屋のはじからはじまでかけてね」と伝えていました。

年長の話をよく聞いて頑張っていた年中のみんな、4月からは年長の思いを受け継いで、頼りになる年長さんになっていってくれることと思いました!



***海野保育園 =そり遊びに行きました=**



3. 4歳児で国立妙高青少年自然の家へそり遊びに出かけてきました。

東御市では見ることでできない雪景色に子どもたちも驚いていました。



森の中で深い雪の中を歩いたり、そり滑りをしたり、最後はみんなでおしりや腹ばいになって滑り、冬の遊びを思い切り楽しみました。

***上高田保育園 =クロカン合宿に行きました=**

上高田の子どもたちは、1月末と3月中旬の2回、スキー合宿を行いました。上高田のスキーは、クロスカントリー用の歩くスキーを履き雪の上を歩きます。ほとんど初めての子が多いのですが、森の中の雪原を何回も転びながらも、身体でバランスをとり坂を上ったり下ったりして経験しながら覚えていきます。時には、森の中でウサギやキツネの足跡を見つけることができます。今回は、見つけることはできませんでしたが、子どもたちは、冬の大自然を五感で感じて2日間を過ごしました。1月の合宿では全員揃わなかったのもう一度皆揃って、合宿をしよう!と提案しました。そして、3月に、皆で最後のスキー合宿を戸隠スキー場で行うことが出来ました。坂を上ったり、バランスをとって坂を滑りおりる子どもたちの姿をみて、子どもたちの成長を感じました。

